



[狭山市広報]
VOL.356



梅宮神社の桃園三傑図は、蜀の皇帝劉備玄德が関羽・張飛の兩名と桃の木の下で義兄弟の盟約を結ぶところを描いたものです。右に劉備玄德、中央に関羽、左に張飛を配したこの絵は江戸時代後期の雲谷派、雪山堤等琳の作品で、縦125cm、横180cmの大きさです。

広報 お知らせ版



永代寺の寄木造りの木造不動明王と二童子立像は、同寺のかつての本尊といわれ、江戸時代初期に造られたと推察されています。両眼を大きく見開き忿怒の表情をした不動明王は像高72.2cm。向かって左の制吒迦と右の矜羯羅の二童子はいずれも41.7cmで、躍動感あふれるその姿は美術的にみても大変優れた作品で、市内に数多くある不動明王のなかでは最高傑作といわれています。

♻️ 再生紙を使用

CLIP-1 (狭山シニア・コミュニティ・カレッジ2期生を募集)...	2~3
CLIP-2 (ダイオキシン類測定結果・お知らせ・都市緑化植物園)...	4~5
CLIP-3 (募集・ご利用を・スポーツ・レクリエーション・公民館・集会所)...	6~7
CLIP-4 (ご参加を・図書館案内・お礼・児童館だより).....	8~9
CLIP-5 (市民会館・その他のお知らせ).....	10
相談案内 3月・保育情報.....	11
市民情報 (イベント・会員募集).....	12~13

2001 February
2125

【今月の表紙】永代寺(柏原)の木造不動明王及び二童子立像と梅宮神社(上奥富)の桃園三傑図(いずれも市指定文化財)